

# 第 5 学 年 国 語 科 学 習 指 導 案

日 時：平成 28 年○月○日(○) 第○校時  
対 象：第 5 学年○組 ○名  
学校名：○○立○○小学校  
会 場：教室

## 1 単元名

メディアのいい受け手になる力をみがこう

教材名 「想像力のスイッチを入れよう」(光村図書 5年)

## 2 単元の目標

事実と感想、意見との関係を押さえながら読んで、筆者の伝えたいことを理解し、それに対する自分の考えを明確にもつことができる。

## 3 単元の評価規準

ア 国語への意欲・関心・態度	イ 読む能力	ウ 言語についての知識・理解・技能
① 題材に興味をもち、自分の知識や経験などと関係付けながら文章を読もうとしている。	① 文章の内容を的確に押さえて要旨を捉えたり、事例と筆者の考えを整理したりしながら読んでいる。  ② 筆者の考えに対する自分の考えを明確にしながら読んでいる。	① 語感や言葉の使い方に対して関心をもち、読んでいる。

## 4 指導観

### (1) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領国語編、第 5 学年及び第 6 学年の「C 読むこと」の目標「目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。」に基づき、指導事項ウ「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること。」を重点的に指導するために設定した。

本単元は、「想像力のスイッチを入れよう」を読み、事例と意見の関係を押さえて筆者の考えを読み取った後に、筆者の情報を読むときの考え方で新聞記事を読み、新聞の報じ方について自分の考えをもち、互いの考えを交流するという構成である。

単元の学習目標である、事例と筆者の意見の関係を押さえ、自分の考えをもたせるためには、次のような指

導内容で展開していく。①書かれている内容を理解し、その話題についての知識や経験を想起すること。②事例と筆者の意見を読み分け、つながりを考えること。③筆者の考えを読み取り、それに対する自分の考えをまとめること。④情報を伝える文章を読んで考えたことを発表し合い、考えを広げたり深めたりすること。

また、本単元では、教材文の学習で理解した情報に対する筆者の考え方を生かして、実際の新聞記事を基に作った新聞記事を読んで、自分の考えを書く。さらに、書いたものを友達と交流する活動を通して、新聞記事の報じ方やメディアとの関わり方についての自分の考えをもたせる。

最後に、新聞記事を取り扱う際には、複数の新聞記事を利用することで社会的事象を多面多角的に考えることができるようにする。

## (2)教材観

本教材は、メディアから発信される情報を正確に受け止めるために必要な努力について、事例を挙げながら考えを述べた説明的な文章である。分かりやすい事例を挙げ、比喻を用いながら主張を展開する、双括型の論説文である。この説明文は大きく分けて、三つのまとまりに分かれている。第一のまとまりで、マラソンの事例と図形の事例を通し、「与えられた情報のすべてを受け止めるだけではなく、『想像力のスイッチ』を入れて見るのが大切である」という筆者の考えが述べられた文章となっている。第二のまとまりで、サッカーチームの監督就任についての報道の事例を通し、メディアの情報の受け止め方による思い込みや推測から生じる誤解を示し、想像力を働かせる重要性和、どのように想像力を働かせるかを述べている。第三のまとまりでは、ここまでの三つの事例から導き出された意見を踏まえた筆者の考えが書かれている。

筆者の伝えたいことは、思い込みを減らすために「想像力のスイッチを入れよう」ということである。そのことを簡単に四つの観点で示している。「事実かな、印象かな。」「他の見方もないかな。」「何がかくれているか。」「まだ分からないよね。」の四つである。しかし、児童にとっては言葉では分かっても、実際にはどういうことか、理解しがたいところがある。そこで、単元の後半には、実際の新聞記事で具体的に考えさせたい。

## 5 年間指導計画における位置付け「読むこと」(説明的文章)

指導時期	単元名 教材名	身に付けさせたい力
4月	新聞の編集のしかたや記事の書き方に目を向けよう 『新聞を読もう』	複数の新聞記事を読み比べることの意味や効果を知ったり、見出しやリード文から要旨を捉えたりすることができる。
5月	筆者の考えの進め方をとらえ、自分の考えを発表しよう 『見立てる』 『生き物は円柱形』	要旨を捉えて自分の考えを明確にしながらか読み、筆者の考えや文章の書き方についての感想を発表し合っ、自分の考えを広げたり深めたりする。
11月	説明のしかたの工夫を見つけ、話し合おう 『天気を予想する』	筆者が伝えたいこと、論の進め方、図表などの活用について考えをまとめて発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。
1月	メディアのいい受け手になる力をみがこう 『想像力のスイッチを入れよう』	事実と感想、意見との関係を押さえて、筆者の伝えたいことに対して、自分の考えを明確にして読むことができる。

6 単元の指導計画と評価計画(全7時間扱い)

次	時間	ねらい	学習活動 ○学習内容	学習活動に即した具体的な評価規準(評価方法)
1	1	全文を読んで、メディアについての知識や経験を想起し、メディアに関心をもつとともに、単元の見通しをもつことができる。	① 自分の知識や経験を想起しながら全文を読む。 ② 「メディア」とはどのようなものかまとめる。 ③ 読んで自分が関心をもったことを書く。 ④ 関心をもったことを話し合う。 ⑤ 単元の学習計画を知る。	アー① 自分の知識や経験を想起しながら全文を読んで、メディアに関心を高め、学習の見通しをもっている。 (ノートの記述、発表)
2	2	全文を読んで、マラソン大会と二つの凶形の事例について、事例と意見を整理し、自分の考えをもつことができる。	① 文章全体を三つのまとまりに分け、大まかな文章構成を捉える。 ② マラソン、凶形の二つの事例から、事例と筆者の意見を整理する。 ③ 事例と意見を整理し、筆者の意見に対する自分の考えをもつ。	イー① マラソン大会と凶形の事例について、事例と意見を整理し、自分の考えをもっている。 (ノートの記述)
	3	サッカーの監督の事例と筆者の考えを読み分け、整理することができる。	① サッカーの監督の事例から、事例と筆者の意見(考え)を整理する。 ② 四つの観点のうち、第一と第二の観点で本文を整理する。	イー① サッカーの監督の事例と筆者の考えを読み分け、整理している。 (ノートの記述)
	4	サッカーの監督の事例と筆者の考えを整理し、筆者の考えに対する自分の考えをもつことができる。	① 四つの観点のうち第三と第四の観点で本文を整理する。 ② 筆者の考えを正確に理解する。 ③ 筆者の考えに対する自分の考えをもつ。	イー② サッカーの監督の事例と筆者の考えを整理し、筆者の考えに対する自分の考えを明確にしている。 (ノートの記述)
	5	「想像力のスイッチ」という言葉に着目して文章全体を読み、筆者の考えに対する自分の考えをまとめることができる。	① 「想像力のスイッチ」を入れるということは何か筆者の考えを次のようにまとめる。 ○思い込みを減らすため	イー② 「想像力のスイッチ」という意味を捉え、それに対する自分の考えを明確にもっている。

			<p>に「想像力のスイッチ」を入れること。</p> <p>○メディアが伝えた情報を冷静に見直すこと。 『事実かな、印象かな』 『他の見方もないかな』</p> <p>○伝えていないことについても想像力を働かせること。 『何がかくれているかな』</p> <p>○結論を急がないこと 『まだ分からないよね』</p> <p>○「想像力のスイッチ」を入れる努力をすること。</p> <p>② 自分の考えを基に、小グループで交流をし、自分の考えを明確にする。</p>	(ノート記述・話し合い)
3	6 (本時)	筆者のものの見方を活用して新聞記事を読み、新聞記事の報じ方について自分の考えをもって友達と交流し、情報を読むときの自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	<p>① 筆者の考え(想像力のスイッチを入れて)を振り返る。 ○「事実かな、印象かな。」 ○「他の見方はないかな。」 ○「何がかくれているかな。」 ○「まだ分からないよね。」</p> <p>② 共通の新聞記事を使い、四つの観点で読む。</p> <p>③ 読んで考えたことをグループや全体で話し合う。</p> <p>④ 新聞記事の報じ方について、自分の考えをまとめる。</p>	<p>イー②</p> <p>筆者のものの見方で新聞記事を読み、自分の考えをまとめ友達と考えを共有することで自分の考えを明確にしている。 (ワークシートに書かれた新聞記事に対する自分の考え)</p>
	7	メディアとの関わり方について自分なりの考えをまとめ、友達と交流する。	① メディアのよい受け手になるためにはどんな力が必要か、自分の考えをまとめる。	<p>ウー①</p> <p>語感や言葉の使い方に対して関心をもって読んでいる。 (ノートの記述)</p>

			② 自分の考えを友達と交流する。	イー② メディアのいい受け手になるためにはどのような力が必要か自分の考えを書いている。 (ノートの記述、交流)
--	--	--	------------------	---

## 7 指導に当たって

児童が主体的に学べるように、以下の学習指導の工夫を行う。

### (1) 学習指導過程の工夫

この教材の特徴として、目立った問いがなく、事例を紹介しながら筆者の考えを展開していることが挙げられる。そこで、「事実」と「意見」に着目し、それを表に整理しながら読むことで、事実と意見の関係を押さえて、内容を的確に捉えるとともに、筆者の考えに対する自分の考えを明確にすることができる考えた。また、毎時間、読み取ったことに対する自分の考えを書き、交流する活動を取り入れることで、自分の考えを明確にしながら読むことを意識付けたい。

### (2) 言語活動の工夫

単元の中心となる言語活動は「メディアとの関わり方について自分の考えを文章にまとめ、友達と読み合うこと」とした。筆者のものの見方を正確に理解し、それに対する自分の考えをもって表現するために、筆者が示す観点をもって実際の新聞記事を読んでもみる言語活動を設定した。この活動を通して、筆者の意図を理解し、メディアに対する自分の考えをもつことができると考える。

### (3) 日常生活や経験と結び付けて

「想像力のスイッチを入れよう」は、メディアとの関わり方において、情報を鵜呑みにすることなく、自分の想像力を働かせて理解することの重要性を訴えた文章である。これまでの生活経験や、日頃どのようにメディアの情報を活用しているかによって、筆者の主張の受け取り方にも幅が出てくる。

そこで、どの児童も自分の生活や経験、知識と結び付けて自分の考えがもてるようにするために、新聞のニュースの紹介や、それに対する考えを述べる活動を意図的に行っておく。また、社会科や道徳、総合的な学習の時間などにおける情報や情報モラルの学習と関連付けを図ることも考えた。

## 8 本時

### (1) 本時の目標

筆者のものの見方を活用して新聞記事を読み、新聞記事の報じ方について自分の考えをもって友達と交流し、メディアと接するときの自分の考えを広げたり深めたりすることができる。

### (2) 本時の展開(6/7)

展開	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価規準(評価方法)
導入 5分	1 単元における本時の位置を確かめ、本時の見通しをもつ。	・単元計画を見直し、何のための本時の学習か確認する。	

	2 本時のめあてを確かめる。		
	想像力のスイッチを入れて、新聞記事を読んで自分の考えをもとう。		
展開 33分	3 前時までの学習を振り返り、「想像力のスイッチ」を入れるための四つの観点を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下の四つの観点を確かめる。 「事実かな、印象かな。」 「他の見方はないかな。」 「何がかくれているかな。」 「まだ分からないよね。」</li> </ul>	
	4 「想像力のスイッチ」を入れて、新聞記事を読み自分の考えを書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員同じ新聞記事を読ませる。</li> <li>・四つの観点から新聞記事に該当する観点を選ばせる。</li> <li>・見付けた観点ごとに色を分け、新聞記事にサイドラインを引かせる。</li> </ul>	
	5 グループで、四つの観点で読んだことを交流する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで交流させる。聞き手の視点を提示する。新聞記事を拡大したものに、下線等を引き、色分けしたシールを貼る。それを見ながら、相互に考えを伝え合う。</li> <li>・児童から出た意見を吹き出しに書き、黒板の拡大した新聞記事に貼る。</li> </ul>	
	6 全体で交流する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで出た考えを、シールで色分けし、吹き出しにまとめ、掲示用の本文に整理する。</li> </ul>	イー② 筆者のものの見方で新聞記事を読み、自分の考えをまとめ友達と考えを共有することで、自分の考えを明確にしている。(ワークシートに書かれた新聞記事に対する自分の考え)
	7 自分の考えを読み返し、加除修正する。		
まとめ	8 振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の活動を振り返り、本</li> </ul>	

7分	9 次時の学習課題を知る。	時の学習で考えたことについて振り返りを書く。	
----	---------------	------------------------	--

(3) 授業観察の視点

- ・教師の発問や指示が、筆者のもの見方で読み取るのに適切なものか。
- ・本時の課題、新聞記事、授業の流れなどが、児童が主体的に学ぶのに有効なものになっているか。

(4) 板書計画

<p>想像力のスイッチを入れて、新聞記事を読んで自分の考えをもとう。</p>	<p>想像力のスイッチを入れよう</p>
--	----------------------

○筆者の示す観点

- ① 「事実かな、印象かな。」
- ② 「他の見方はないかな。」
- ③ 「何がかくれているかな。」
- ④ 「まだ分からないよね。」

○本時の学習の進め方

- ① いくつかの観点を選んで新聞を読む。
- ② それに対する自分の考えを書く。
- ③ 考えをグループ・全体で交流する。
- ④ 振り返りをする。

○本時の学習をふりかえって